



苅谷 俊介 *Kuriya Shunsuke*

●かりやしゅんすけ

日出町を離れて48年。現在、日出町に家はありませんが、年に1、2度は帰郷し、兄弟以上につながったすばらしい友たちと日出弁で語らしながら、最高のひとときを過ごしています。主に妙光寺の太田誠照上人が音頭をとって10人、あるときは数十人近くの友が集まります。皆白髪頭になりましたが、気持ちは小中学校のころとまったく変わっていません。わが友は日出町の文化です。

profile

昭和21(1946)年、大分県速見郡日出町生まれ。昭和44(1969)年映画「トラトラトラ」の助監督を経て、昭和45(1970)年「さらば掟」で映画俳優としてデビュー。その後、テレビドラマや舞台など、さまざまな分野で活躍。昭和49(1974)年、(株)石原プロモーションへ所属。昭和60(1985)年に退社後、(株)土舞台を創設し、今にいたる。また、エッセイや考古論文などの執筆活動も手掛けており、幅広く活動中。

佐藤 廣士 *Sato Hiroshi*

●さとうひろし

旅先で青い海と隣接する緑濃い山を見ると、日出町の風景を思い出し、ホッとなつかしい気持ちになります。高台から一望できる別府湾、日出の山々やまちなみなど、人の心を和ませる光景は趣深く、おいしい山海の幸を食せば、癒しの効果はさらに増します。城下かれいや別府湾ちらりめんを肴にカボスをギュッとかけて麦焼酎を飲み干す、そんな至福のひとときを多くの人に過ごしてもらいたいです。



profile

昭和20(1945)年、大分県速見郡日出町生まれ。昭和45(1970)年、九州大学大学院修士課程冶金学専攻修了。同年神戸製鋼所に入社。技術開発本部材料研究所長、技術開発本部開発企画部長を経て平成8(1996)年取締役、平成15(2003)年専務、平成16(2004)年副社長就任、平成21(2009)年より神戸製鋼所社長となる。平成25(2013)年4月より会長に就任。



多田 昭重 *Tada Akiyoshi*

●ただあきしげ

城下の桜が波に散る海沿いの遊歩道に、まちの名物「城下かれい」を味わえる的山荘が復活。その近くには、瀧廉太郎と一族の墓が移設され、ここに佇むと廉太郎が垣根越しに聞いたという、おばあさんの弾いた三味線の音色がしのばれます。

profile

昭和10(1935)年、大分県速見郡日出町生まれ。昭和32(1957)年早稲田大学文学部卒業後、西日本新聞社へ入社。昭和57(1982)年編集局経済部長、東京支社長を経て、平成5(1993)年取締役へ就任。平成7(1995)年常務取締役・編集局長、平成9(1997)年専務取締役・営業本部長、平成13(2001)年6月代表取締役社長、平成20(2008)年代表取締役会長となる。平成22(2010)年相談役に就任。

Messages to Hiji Town

親愛なる日出町への メッセージ

きらめきLIFE×特集

ふるさとで過ごした輝かしき日々を振り返りながら、
日出町を代表する5名のふるさと親善大使がまちへのメッセージを綴る。

Five Ambassadors of Goodwill represent Hiji Town by sending messages retracing their lives at home.



速水 映人 *Hayami Eito*

●はやみえいと

僕は、生まれ育ったまち「日出町」に流れる「風」が大好きです。今でも故郷に帰るたびに感じるあたたかくて心地よい風が、いつも心を癒やしてくれています。厳しい芸の道で、10年やって来ることができたのも、地元の皆さんのが強い声援のお陰だと思っています。これからも、公演で回るいろんな場所で日出町をPRして、県外の人にこの「風」を感じてもらえるように努力していきたいと思います。



profile

本名:平早水裕二(ひらそうずゆうじ)。昭和60(1985)年、大分県速見郡日出町生まれ。平成15(2003)年、梅沢武生劇団に入団。入団後、明治座(東京)で初舞台を迎え、以後劇団俳優「梅沢扇乃助」として同劇団に約7年在籍。平成21(2009)年の退団に伴い、「速水映人」に改名。単独公演や各イベントにゲスト出演するなど活躍中。



河内 明美 *Kawachi Akemi*

●かわちあけみ

海あり、山あり、歴史あり。最高のロケーションに、おいしい水と食べ物。日出町はどれをとってもすばらしいまちです。私を育んでくれた日出町に、少しでも恩返しができるように、これからも頑張って参りたいと思います。